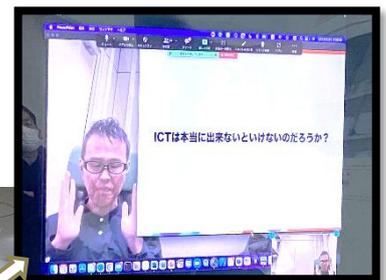


令和3年度 冬季研修会

今年度の冬季研修会は、札幌市が観測史上1位となる24時間降雪量を記録した翌日の1月13日に行われました（2月5日、降雪量の記録は更新）。「知的障害教育におけるICT活用を考え、学校全体の専門性を高める取り組みを行う」ことを目的に、前半は講演、後半は選択講座として実技中心の研修を行いました。冬季休業中でしたが、60名を超える職員が参加し有意義な研修となりました。

講演

小川 修史 氏（兵庫教育大学大学院学校教育研究科・准教授）による「知的障害のある児童生徒のICT活用について」をテーマとしたZoomによるオンライン講演が行われました。小川先生は、参加している私達の様子を見ながら（聞きながら）お話を進めて下さり、先生との距離を近く感じながら受講することができました。ICTと言っても難しく捉える必要はなく、カメラ機能だけでもできることがたくさんあることに気付くことができました。また、途中でいくつかのお題が出て、グループごとに話し合う場面もあり、より一層理解を深めることができましたと思います。



[参考] [lit.link/ogatti21](https://www.instagram.com/lit.link/ogatti21)

○ Instagramでは小川先生が副代表をされているファッションブランドbottom' allの活動が紹介されています。

開会式「zoom（ビデオ会議システム）」

開会式は「Zoom（ビデオ会議）」で行いました。夏季研修ではGoogle Meetを利用しましたが、今回は個別懇談でも利用しているZoom。オンラインシステムにも、ずいぶん慣れてきたのではないのでしょうか。



選択講座

講座1：スケジュールアプリ「やることカード」「絵カードタイマー」「絵カードカウンター」



「タイマーアプリ」は、360度1周で60分を表します。5分など短い時間を示したいときには、少しわかりづらいため、1周当たりの時間を設定できないか試行錯誤しました。が…その方法や他のアプリは見つかりませんでした。ご存じの方がいらっしゃいましたらぜひ教えて下さい！

「やることカード」は子ども向けのスケジュールアプリです。時計と絵カードで自分の「やること」を見える化してくれるので、スケジュール管理を助けてくれます。絵カードを新しく作ることができ、子どもが日常使う写真やイラストを入れることができます。

講座2：お絵かきアプリ「ibisPaintX」～本格お絵かきアプリ（主に教材作成に使用）



3種類のアプリの使用方法を動画や資料で確認しました。絵や写真などを加え、担当の子どもをイメージして作ることができました。今後、子ども達に合せて活用していくことができそうです。

ibisPaintは、ipone・ipad・Android端末で使えるお絵かきアプリです。「絵を描く楽しさを共有できる」ことをコンセプトに作られており、デジタル初心者でも使いやすい機能が提供されています。絵を描くのはもちろんのこと、絵を描いた工程を動画で見ることができます。

講座3：プログラミングアプリ「viscuit」～子ども向けビジュアルプログラミング

今回は、動画や資料で仕組みを理解した後、いくつかのプログラムを組み合わせるオリジナルのプログラムを作ることまでを目標に取り組みました。絵が上手な先生がたくさんいて、楽しいアニメーションが多くできあがりました。



ビスケットはとても簡単なプログラミング言語です。メガネという仕組みたった一つだけで単純なプログラムからとても複雑なプログラムまで作ることができます。仕組みは単純ですが組み合わせ方が様々なので複雑なことができるのです。ビスケットを使うとアニメーション・ゲーム・絵本などを簡単に作ることができます。ビスケットを使いこなすには難しいことを覚える必要はありません。それでもプログラミングの楽しさと可能性を感じ取ることができるでしょう。さあ、いっしょにプログラミングを楽しみましょう。

開発者 原田ハカセ

